

育児に悩む鬱状態の母親増加傾向のニュース

TVの口・カルニュースの中で、育児に悩んで鬱状態の母親が多くなりつつある問題を取り上げ、この現状について専門機関のDrが解説し、更なる親の支援の充実をコメントしていた。このDrは私のメル友でもあり、TVで久しぶりに拝顔したことに触れつつ、厚かましく以下のようなメールを送信した。

【育児に戸惑う母親は、今後益々増えるでしょうね。ご近所の方に聞くという、係わりが苦手なのかもね。

「プライバシー」を持ち出し、人に干渉されたくない、したくない、という現代社会の風潮の中で育った若者（親）ですものね。人間関係が希薄といわれる社会的背景が、この問題にもあるのでしょうかね。

気軽に育児を相談できる機関、支援システムの必要性も感じますが、今度は、「アドバイス通りにしたのに、我が子は思うように行かないのはなぜ？」と、また悩み、時には虐待に…。あまりにも、マニュアル化した社会だけに、子育てもマニュアル的にできると、無意識に思う人間が増えているのでしょうかね。

「生きる」とは、究極的には、自分とは異なる人格ある周りの人（我が子を含め）と、どう係わり合うかの自らのプロセスでもあるということ、一人一人がまず確認する社会の雰囲気にしていかないと、こうした問題はそうそう解決しないのではないかと私は思っています。】

お忙しいDrにも拘わらず、直ぐに返信をくださった。その要旨は、「様々な子育てにまつわる問題の相談を受け、世の中の変化、そして人の心の有り様の変化、さらには援助の多様さに対応する毎日であり、忙しい日々を追われている。」とのこと。

人とのコミュニケーションを深めるためには、時に、「厚かましさ」も必要ということかもね。

私のメル友の皆さんへの厚かましさは、時にはご迷惑をかけているかな……、 m(_ _)m

(2004年05月13日記)